

ミニシンポジウム趣旨

政府は、2014年6月に閣議決定した「日本再興戦略（改訂）」において、多様な価値観や経験、技術を持った海外からの人材が日本でその能力を発揮することが重要であるとし、当面の対応策として、1）管理監督体制の強化を前提に技能実習制度を拡充する、2）建設業及び造船業に従事する技能者の就労を円滑化するための緊急措置を整備するとした。そのうえで、3）今後、日本への留学生や海外の優秀な人材が日本で働き暮らしやすくするため、国家戦略特区の活用にとどまらず、中長期的視点に立って総合的な検討を進めることとした。

本シンポでは、「アベノミックス」における外国人政策の役割を整理・検討したうえで、特に入管政策及び労働政策の課題を取り上げ、さらに、自治体の多文化共生政策の視点から問題を提起する。以上を踏まえ、今後の外国人政策の方向性につき、会場の参加者とともに議論を深めたい。